

平成 28 年 10 月

平成 28 年度 第 3 回原環センターセミナー
「放射性廃棄物最終処分の安全評価の基礎Ⅲ」
開催案内

1.開催の趣旨

本年 5 月 27 日に第 1 回原環センターセミナー「放射性廃棄物最終処分の安全評価の基礎Ⅰ」を開催し、放射性廃棄物最終処分のシステムが各分野の科学・工学をどのように統合して安全な処分を達成しようとしているかを理解するための基礎的知識を教授しました。また、10 月 27 日には、基礎的知識の中から重要な課題に焦点を当てた第 2 回原環センターセミナー「放射性廃棄物最終処分の安全評価の基礎Ⅱ」を開催します。

このたび開催する「放射性廃棄物最終処分の安全評価の基礎Ⅲ」は、このような基礎的知識の上に、簡単な解析演習を通じて、安全評価から見た放射性廃棄物最終処分の全体像をより深く理解していただくことを目標としています。

最終処分安全評価の基礎的知識を持ち、これを更に深めたいと考えている技術者・研究者の皆様には多数ご参加いただければ幸いです。

2.開催日時 平成 28 年 11 月 10 日（木） 9:30～17:00（受付 9:15～）

3.開催場所

東海大学高輪キャンパス 1 号館 3 階 第 3 会議室

〒108-8619 東京都港区高輪 2-3-23 電話 03-3441-1171（代表）

<http://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/takanawa/index.html>

4.受講対象

放射性廃棄物最終処分の安全評価に関する基礎的な知識を持ち、この知識を解析の面から深めたい技術者・研究者にお勧めします。演習にパソコンを使用しますので、MS-Excel が入ったパソコンを持参できることが必要です。

5.募集定員

18 名

6.講師

東海大学 工学部 原子力工学科 教授 大江 俊昭 氏

7.プログラム(暫定)

別紙をご覧ください。

なお、解析演習では、MS-Excel を使用しますので、MS-Excel (2010～2016) が入ったパソコンをご持参ください。

注) 解析演習では、MS-Excel を使用します。Excel (2010～2016) が入ったパソコンを各自でご持参ください。解析プログラムは事前に配布しますので、ダウンロードしておいてください。すべての演習で Excel を使いますが、簡単な四則演算が出来れば十分で、プログラムの知識は必要ありません。また使用したシート、プログラムはすべて持ち帰り可能です。

8.受講料

受講料は、15,000 円/名です。申込書を送付し、申込み受付の電子メールを受領されたら、平成 28 年 11 月 2 日 (水) までに、指定の口座に受講料をお振り込みください。請求書、領収書が必要な場合は申込書にご記入ください。領収書は受講証明書とともにセミナー当日にお渡しします。

なお、原環センター賛助会員は以下のとおり無料で参加できます。これを越えた場合は有料 (15,000 円/名) となりますので、ご注意ください。

特定及び特別賛助会員	2 名無料
普通賛助会員	1 名無料

特定及び特別賛助会員は 2 名、普通賛助会員は 1 名が無料で受講いただけます。

これを越えた場合は、受講料 15,000 円/名となります。受講申込書受領の電子メールで振込口座名をお知らせしますので、11 月 2 日 (水) までに受講料をお振り込みください。受講料の振込が確認されると申込み完了となります。請求書、領収書が必要な場合は申込書にご記入ください。領収書はセミナー当日にお渡しします。

9.申込み方法・締め切り

別添の受講申込書に所定事項を記載して、電子メールで sanka@rwmc.or.jp までお申し込み下さい。

申込み締め切りは、平成 28 年 11 月 2 日 (水) です。ただし、これ以前に募集定員に達した場合は募集を締め切りますので、ご注意下さい。

10.問合わせ先

(公財)原子力環境整備促進・資金管理センター

企画部：藤原(03-3534-4529) 又は吉川(03-3534-4530)

電子メール：sanka@rwmc.or.jp

別紙

平成 28 年度 第 3 回原環センターセミナー 「放射性廃棄物最終処分の安全評価の基礎Ⅲ」 プログラム概要(暫定)

課題 1：放射性廃棄物処分の安全評価解析の基礎（9:30～11:45 135 分）

- ◆ 浅地中ピット処分の事例分析（低レベル放射性廃棄物埋設事業）
低レベル埋設事業の安全評価モデルの考え方を説明し、解析解を使って代表的なシナリオの評価を行います。
- ◆ 地層処分の事例分析（JNC2000 年レポート）
JNC2000 年レポートの人工バリアシステム、天然バリアシステムの考え方を説明します。

昼食休憩（11：45～12：45）

課題 2：放射性廃棄物処分の安全評価解析の演習（12:45～15:45 180 分）

- ◆ 有限差分法による放射性核種移行解析
有限差分法の原理を MS-Excel の簡単な表計算により理解します。
- ◆ 地層処分の総合安全評価
Excel のビジュアルベーシック言語（VBA）による簡単なプログラムを使って、人工バリアから天然バリアまでの一連の安全評価の実習を行います。

休憩（15：45～16：00）

講義 3 原子力発電所事故による汚染廃棄物の評価（16:00～17:00 60 分）

- ◆ 焼却灰の最終処分に関する安全評価
浅地中処分の評価手法を応用して、福島発電所事故に由来する放射性 Cs 含有焼却灰の一般廃棄物最終処分での埋設に関する安全評価を試みます。